平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名　株式会社電通国際情報サービス　　上場取引所　東
コード番号　4812　URL　http://www.isid.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）水野 紘一
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　（氏名）酒井 次郎　TEL 03-6713-6160
四半期報告書提出予定日　平成20年8月12日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	14,290	—	△722	—	△715	—	△468	—
20年3月期第1四半期	13,123	2.2	△1,370	—	△1,370	—	△914	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△14.37	—
20年3月期第1四半期	△28.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	52,869	32,874	61.7	1,001.01
20年3月期	52,925	33,541	62.9	1,021.61

（参考）自己資本　21年3月期第1四半期　32,616百万円　20年3月期　33,287百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	———	———	———	———
21年3月期（予想）	———	10.00	—	10.00	20.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	35,435	—	509	—	568	—	93	—	2.85
通期	79,746	3.1	4,360	△7.1	4,459	△10.4	2,136	△6.1	65.55

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無
新規　— 社（社名　　）　除外　— 社（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　有
（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第1四半期　32,591,240株　20年3月期　32,591,240株
② 期末自己株式数　21年3月期第1四半期　7,600株　20年3月期　7,569株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第1四半期　32,583,656株　20年3月期第1四半期　32,583,814株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(1)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。
なお、上記予想に関する事項は、3ページをご参照ください。
(2)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）の連結売上高は、主として単体において、金融業向けを中心に受託システム開発の売上高、ならびにERPシステム導入作業等を中心にソフトウェア商品の売上高が前年同期比拡大したことにより、14,290百万円（前年同期比108.9%）となりました。

利益面につきましては、売上高の増収に加え、売上総利益率の向上により、売上総利益が前年同期比増加いたしました。一方、販売費及び一般管理費は、研究開発費が増加したものの、全体では前年同期比減少いたしました。この結果、連結営業損失は722百万円（前年同期は営業損失1,370百万円）、連結経常損失は715百万円（前年同期は経常損失1,370 百万円）とそれぞれ前年同期比改善いたしました。

また、前年同期に株式売却益を特別利益に計上していたことに加え、当第１四半期連結会計期間より新リース会計基準の適用を開始したことに伴う影響額等を特別損失に計上したものの、連結四半期純損失も468百万円（前年同期は純損失914 百万円）と前年同期比改善いたしました。

＜当社グループ業績の季節変動性について＞

当社グループは、売上高の計上において完成基準を採用しております。当社グループの顧客においては、上期初あるいは下期初から新しいシステムの稼動を開始する場合が多いため、当社グループの売上高の計上は第２四半期および第４四半期に偏重し、第１四半期および第３四半期の売上高は相対的に低くなる傾向にあります。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して484百万円増加し、13,638百万円となりました。

当第１四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失（△772百万円）の計上や法人税等の支払（△1,936百万円）、仕入債務の減少（△1,672百万円）、前渡金の増加（△1,570百万円）、たな卸資産の増加（△1,514百万円）、未払費用の減少（△1,309百万円）、未払消費税等の減少（△568百万円）等があった一方、売上債権の減少（7,910百万円）、前受金の増加（2,306百万円）や減価償却費（797百万円）、のれん償却額（153百万円）の計上等があった結果、資金は2,081百万円の増加となりました。

前年同期との比較においては、税金等調整前四半期純損失の減少（470百万円）、たな卸資産の減少（567百万円）、主に「リース取引に関する会計基準」等の早期適用による減価償却費の増加（471百万円）等による資金の増加が、未払費用の減少（△676百万円）、仕入債務の減少（△257百万円）、法人税等の支払の増加（△211百万円）、売上債権の回収額の減少（△144百万円）等による資金の減少を上回ったことなどにより、206百万円の資金増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出（△627百万円）、有形固定資産の取得による支出（△269百万円）等により、資金は902百万円の減少となりました。

前年同期との比較においては、投資有価証券の取得による支出の減少（83百万円）があったものの、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出の増加（△342百万円）、投資有価証券の売却がなくなったことによる収入の減少（△231百万円）、有形固定資産の取得による支出の増加（△218百万円）等により、651百万円の資金減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

リース債務の返済による支出（△445百万円）、配当金の支払（△325百万円）により、資金は771百万円の減少となりました.

前年同期との比較においては、「リース取引に関する会計基準」等の早期適用によるリース債務の返済による支出（△445百万円）により、445百万円の資金減少となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

原油価格および原材料価格の動向やサブプライムローン問題を背景とする金融市場の世界的混乱により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。このような中、企業は情報化投資に慎重になり、また投資対効果に対する要求がさらに強まるなど、当社グループを取り巻く事業環境は、今後厳しさが増すことが予想されます。

かかる状況のもと、当社グループといたしましては、顧客の経営課題を見極め、顧客に最適なソリューションの提案に一層注力してまいります。コスト面につきましては、積極的な研究開発投資を実行しつつ、生産性の向上に努めてまいります。

業績予想は、現時点におきましては、平成20年5月12日に発表いたしました予想を変更しておりません。

※上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

１．当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

２．たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

３．「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第１四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

４．リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第１四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

これによる影響は以下のとおりです。

流動資産	113百万円増加
有形固定資産	2,625百万円増加
無形固定資産	642百万円増加
流動負債	1,353百万円増加
固定負債	2,067百万円増加
営業損失	23百万円減少
経常損失	3百万円減少
税金等調整前四半期純損失	46百万円増加
営業活動によるキャッシュ・フロー	445百万円増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	445百万円減少

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成20年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,839	2,210
受取手形及び売掛金	10,942	18,813
有価証券	50	50
商品	39	40
仕掛品	3,796	2,279
貯蔵品	13	12
前渡金	5,345	3,767
預け金	10,798	10,943
その他	2,508	1,979
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	36,308	40,070
固定資産		
有形固定資産	4,097	1,247
無形固定資産		
のれん	2,162	2,316
その他	4,114	3,141
無形固定資産合計	6,277	5,458
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,189	6,149
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	6,186	6,148
固定資産合計	16,561	12,854
資産合計	52,869	52,925
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,667	7,323
未払法人税等	160	2,078
前受金	7,108	4,779
受注損失引当金	3	―
その他	4,783	4,982
流動負債合計	17,723	19,164
固定負債		
退職給付引当金	101	97
役員退職慰労引当金	63	63
その他	2,105	58
固定負債合計	2,271	219
負債合計	19,994	19,384

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成20年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	9,145	9,939
自己株式	△28	△28
株主資本合計	32,583	33,377
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96	88
繰延ヘッジ損益	3	△20
為替換算調整勘定	△66	△157
評価・換算差額等合計	33	△89
少数株主持分	257	253
純資産合計	32,874	33,541
負債純資産合計	52,869	52,925

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）
売上高	14,290
売上原価	10,133
売上総利益	4,157
販売費及び一般管理費	4,879
営業損失（△）	△722
営業外収益	
受取利息	29
受取配当金	21
雑収入	14
営業外収益合計	65
営業外費用	
支払利息	20
持分法による投資損失	0
為替差損	30
雑損失	6
営業外費用合計	58
経常損失（△）	△715
特別損失	
固定資産除却損	5
リース会計基準の適用に伴う影響額	50
特別退職金	1
特別損失合計	57
税金等調整前四半期純損失（△）	△772
法人税、住民税及び事業税	66
法人税等調整額	△374
法人税等合計	△308
少数株主利益	4
四半期純損失（△）	△468

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△772
減価償却費	797
のれん償却額	153
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4
受注損失引当金の増減額（△は減少）	3
受取利息及び受取配当金	△50
支払利息	20
持分法による投資損益（△は益）	11
固定資産除却損	5
リース会計基準の適用に伴う影響額	50
売上債権の増減額（△は増加）	7,910
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,514
前渡金の増減額（△は増加）	△1,570
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,672
未払費用の増減額（△は減少）	△1,309
前受金の増減額（△は減少）	2,306
未払消費税等の増減額（△は減少）	△568
その他	182
小計	3,987
利息及び配当金の受取額	50
利息の支払額	△20
法人税等の支払額	△1,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△269
無形固定資産の取得による支出	△627
投資有価証券の取得による支出	△2
貸付けによる支出	△1
貸付金の回収による収入	0
敷金及び保証金の差入による支出	△6
敷金及び保証金の回収による収入	15
その他	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△902
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△445
配当金の支払額	△325
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）
現金及び現金同等物に係る換算差額	76
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	484
現金及び現金同等物の期首残高	13,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,638

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

（１）（要約）四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 （平成20年３月期 第１四半期）
	金額（百万円）
Ⅰ　売上高	13,123
Ⅱ　売上原価	9,505
売上総利益	3,617
Ⅲ　販売費及び一般管理費	4,988
営業損失（△）	△1,370
Ⅳ　営業外収益	68
Ⅴ　営業外費用	67
経常損失（△）	△1,370
Ⅵ　特別利益	134
Ⅶ　特別損失	6
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,242
法人税等合計	△325
少数株主損失（△）	△3
四半期純損失（△）	△914

（２）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 （平成20年３月期 第１四半期）
区分	金額（百万円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,242
減価償却費	326
のれん償却額	156
退職給付引当金の増減額（減少：△）	3
役員退職慰労引当金の増減額（減少：△）	1
受注損失引当金の増減額（減少：△）	△23
受取利息及び受取配当金	△41
持分法による投資損益（利益：△）	23
投資有価証券売却益	△134
投資有価証券評価損	6
売上債権の増減額（増加：△）	8,054
たな卸資産の増減額（増加：△）	△2,081
前渡金の増減額（増加：△）	△1,282
仕入債務の増減額（減少：△）	△1,415
前受金の増減額（減少：△）	2,317
未払消費税等の増減額（減少：△）	△599
その他	△508
小計	3,561
利息及び配当金の受取額	39
法人税等の支払額	△1,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,875
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△51
無形固定資産の取得による支出	△285
投資有価証券の取得による支出	△85
投資有価証券の売却による収入	231
敷金及び保証金の差入額	△10
敷金及び保証金の返還額	8
その他	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△325
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326

	前年同四半期 （平成20年３月期 第１四半期）
区分	金額（百万円）
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	35
Ⅴ　現金及び現金同等物の増減額（又は減少額）	1,334
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	11,042
Ⅶ　現金及び現金同等物の四半期末残高	12,377